

## 第2回 西脇市立学校学習環境規模適正化地域会議（西脇東中学校区） 意見概要

テーマ：①望ましい学習・生活集団規模について ②望ましい指導体制について

【A グループ】 地域代表・学校代表・保護者代表（就学前・小・中）各1～2名

No	意見
<b>テーマ① 望ましい学習・生活集団規模について テーマ② 望ましい指導体制について</b>	
01	クラス替えができる規模が望ましい。
02	小学校では、1学年に2～3クラスはあった方がよいと思う。
03	中学校では、1学年に3～4クラスはあった方がよいと思う。
04	タブレット等ハード環境でカバーできる面はよいが、子ども同士の生のふれあい等、実体験でないと学べないことがある。
05	児童・生徒数が多い方が活発な学習ができる。
06	この地区で住んだ時から、1学年1学級には抵抗がある。
07	子供のことにに関してクラス替えがないことで、人間関係で大変な時期があった。クラス替えにより、リセットできればと思った経験がある。子どもにも、人間関係で合う・合わないケースがある。
08	子どもの人数が少ないと、どうしてもメンタル面が固定される。そうした際、居り場の無い子どもができる可能性がある。
09	学習に関しては、少人数ということもあり目が行き届いてよかったと思う。
10	東中の野球部が少ないので、クラブチームに入部した。他地区の子どもたちとスポーツを通じて交わり、人間的にも大きく成長した。
11	いろんな意見があると思うが、子育てを行っている親の気持ちを優先して考えるべきだと思う。
12	発達段階に応じて、徐々に大きな集団に移行することがいいのではないかな。
13	比延地区の子供数が、これだけ減っていることを知らなかった。地域住民も同じではないかな。
14	地域の活力が無くなってしまうことが心配。児童数の減少という現実を受け止め、何らかの手を打つ必要があるように思う。
15	この地域の少子化に関する現実は厳しい。郷土愛だけでは立ち行かないのではないかな。
16	若い人が集まるような地域づくりも考えることが大切。(近隣市町にも同様の取組がなされている)

【B グループ】 地域代表・学校代表・保護者代表（就学前・小・中）各1～2名

No	意見
<b>テーマ① 望ましい学習・生活集団規模について テーマ② 望ましい指導体制について</b>	
01	小規模特認校の教育に概ね満足している。
02	少人数ならではの、児童と先生の距離が近い。環境にも恵まれている。
03	課題は、人数が少ないため同級生との関わりが少ない。
04	こども園では、双葉・比延が一緒なのに、小学校では分かれてしまい中学校では再び一緒になる。こういうところを、何とかできないかな。
05	子どもに人数減少は理解している。人数が少なくなっても、オンライン授業等ネットワーク活用によりうまくできるのではないかな。
06	懸念点は、中学校の部活動。西脇東中は人数が少なく、黒田庄中との合同部活動が多い。さらに人数が少なくなってしまうと、部活動の選択肢がさらに狭まる。
07	複式学級である場合、教科担任制において自分の担当する学年だけでなく、他の学年の担任でもあると

	いう自覚も芽生えるためメリットとなるのではないか。
08	複式学級である場合、2学年分の業務が一人の担任の先生に生じるため、先生の負担が増えるため、教科担任制導入にとっては逆にデメリットではないのか。

**【Cグループ】 地域代表・学校代表・保護者代表（就学前・小・中）各1～2名**

No	意見
<b>テーマ① 望ましい学習・生活集団規模について テーマ② 望ましい指導体制について</b>	
01	少人数でもある程度知っていることから安心感がある。
02	少人数だからこそ、先生や地域の皆さんに十分見ていただいているという思いがある。
03	比延小学校や双葉小学校ともに、児童数は少ないが仲良くやっていると思う。
04	高校生になるときに、人数が増える事での不安がある。
05	この先の児童数を考えると不安なところもある。
06	児童・生徒の人数が少なくても、子供は育っていくのではないか。
07	英語や数学などの授業では、少人数のほうがメリットあるのではないか。
08	逆に体育祭や部活動などは、人数が少ないことによるデメリットが生じてしまう。
09	部活動などは黒田庄中と合同チームを結成するなど行っており、そのことから学ぶことも多いのではないかと思う。
10	理想は、集団的な行事ができる規模であること。
11	児童・生徒数としては、20人から30人ぐらいが理想ではあると思う。
12	親が求めているものを考えると、ある程度の集団は必要